79日

32

47

疾患 血液·循環器

56日

18

38

不慮の事故

■自宅療養

保団連共済部長·休保共済会専務理事

傷病分類別平均給付日数 (2015年度~2019年度)

(3)

100

80

60

40

20

103日

34

69

悪性新生物

万一のケガや病気に備えて

休業保障制度 呆団連の

増口申込を受け付け中で お申込みください。 ない方はこの機会にぜひ 方で、まだ加入されてい 加入資格を満たしている 休業保障制度の加入・ (加入日は8月1日)

確かな給付実績

スタッフの雇用継続や医

患者さんの診療継続、

期の休業は預貯金等でし 責任を負っています。短 ど、特に開業医は多様な 院の維持、家族の生活な 疾病のトップである悪性 てきました。休業に至る 6億9000万円給付し 2万8987人に125

非営利の運営を貫いてお えられます。 期の傷病による休業に備 医師自らの手で創設され や病気で診療を休んだ時 士の助け合い制度として た共済制度です。会員同 保険医協会・保険医会の えは必須です。 余儀なくされた場合の備 に給付金を受けられる、 休業保障制度は、ケガ 手ごろな掛金で中長

1970年創設以来、 みをお待ちしています。

ご加入中の皆様へ

傷病休業給付金の請求に際しては 約款で規定している給付要件を満た していることが必要です。休業時に は、速やかに所属の保険医協会・保 険医会にご連絡をお願いします。

新型コロナウイルス感染症(疑い 三者の医師に受 診していただくことが必要です。

保障制度)を取り扱っている。同制度を運営する 業への備えとして保険医休業保障共済保険(休業 保険医協会・保険医会は、病気やケガによる休 明彦 の森明 見ると、2、3カ月の休 業を要しています(図)。 新生物をはじめ、平均で 給付しています。 総額約3770万余円を 昨年5月から本年2月ま 症についての請求では、 新型コロナウイルス感染 でで、疑い4件含め82件、

生き方」。困難を乗り越え、地域医療にまい進する

的損害も最小限に抑えら 入していたおかげで経済 なにより休業保障等に加

> が開業医には欠かせな れた。常日頃からの準備

> > 私の|開業医宣言_

岐阜協会

竹田智雄

『月刊保団連』4月号のテーマは 「町医者という

『月刊保団連』 ダイジェス

|

早めに注意するようにし

隣の病院、診療所、訪問

看護ステーション等と連

と責任を感じている。近 受け入れられ、やり甲斐

所を作っていきたい。

診療所は徐々に地域に

携して、地域の方に安心

して通ってもらえる診療

の生き方を探求する。著者の投稿概要を紹介する。 先輩開業医師・歯科医師を紹介し、町医者として

医者が大病に見舞われたとき

石川協会 三宅

靖

全国保険医休業保障共済会(休保共済会)

(保団連共済部長)に聞いた。

ただいています。 強かった」などの声をい 対応が、家族にとって心 入したが、予期せぬ休業 は思っていなかった」「加 は、「まさか自分が病気で 所属の保険医協会・保険 で給付を受け助かった」 いのでお守り代わりに加 入時から掛金が上がらな 長期間休むことになると 協会の役職員の親身な 加入をご検討の方はご 給付を受けた方から

れた。周りの協力で快方 病前の生活に戻れた。休 に向かい、現在は、ほぼ 診期間は実に4カ月に及 約5年前に大病に罹患 一時は生命も危ぶま スタッフ、近

医会に、気軽にお問い合

わせください。お申し込

経済的な裏付けである。 当に頼りになるのは家 続することができた。 も適切な医学的管理を継 られ、訪問診療の患者に 機関や調剤薬局、そして 族、従業員、近隣の医療 突然の病に見舞われ本

て6年半が経過した。

名古屋市北区で開業

地域で生きる女性開業医

愛知協会 佐野由



良さだ。 りが利くことが開業した

駄目だと気づき、最近は 業当初は従業員に遠慮し て注意しづらかったが、 に職員の労務管理だ。開 一方、大変なことは常



のを取り入れられる小回 自分の判断で新しいも

隣の医療機関などに助け

のは、何でも言える身近 努力している。 療を提供しようと懸命に 域に根ざし、質の高い医 業医師・歯科医師は、地 な「相談医」である。開 患者が町医者に望むも 衣

1989年に保団連 事例を紹介する。

を掲げた。 は、医療に対する基本姿 勢として「開業医宣言」

いる。患者との対話を通 善や平和運動に取り組む ことも医師の責務として じて「宣言」を実践した 者・国民とともに医療改 社会保障の充実を求め患 指針を示している。また、 医療を実践する上で、「全 など地域医療に取り組む へ的医療」、「対話の重視」 「宣言」は町医者として

女性部 の要求実現

医学部入試差別

男女別合格率の公表を要請し、昨年12月に実現し 差別が発覚。保団連女性部は文科省などに対して 再発防止策が必要である。 た。入試差別の解消に向けては、 2018年に医学部の女性受験生に対する入試 継続的な調査や

点が発覚直後、すべての 試での女性受験生への減 8月に4大学の医学部入 **大学の学部・医学科の過** 文科省は、2018年 を調査した。しかし、19 全大学の調査は行ってい 年、20年入試はいずれも、 去 6 年間の男女別合格率

別を疑う声は、 も関わらず、合格者の女 性受験生に対する入試差 いている。そのため、女 20年にわたり横ばいが続 割程度に達した後、それ 性割合は2003年に3 は女性が男性より高いに までの伸びが止まり、約 医師国家試験の合格率 以前から と、20年もこれまでと同 も低い。全体平均でみる 女性の合格率が男性より れば、81大学中55大学で 継続的な調査必要

公表は、こうした取り組 率の公表が重要と指摘し で、文科省や国会議員へ みの一定の成果である。 査の継続を求め、特に全 の要請で、入試差別の調 てきた。男女別合格率の 大学医学部の男女別合格 保団連女性部はこれま

えにくい。恣意的な配点 きくなっている。差別が な調査・公表が必要だ。 数なども含めて、継続的 が行われやすい面接など 完全に解消されたとは考 く、その差は19年より大 が男性受験生よりも低 科目ごとの男女別平均点

ともに人間らしく働ける 環境を実現するための医 場の状況を改善し、男女 背景にある過酷な医療現 の継続とともに、差別の 保団連女性部は、調査

様に女性受験生の合格率 公表されたデータによ 学部定員増と財政的保障